

講義コード	1067	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクジツシュウシドウイチ	(フリガナ)	クニヒロカツヨ・ヤマグチキョト
授業科目名	保育実習指導 I (後半)	担当教員名	国広勝代・山口季音
英文授業科目名	nursery training guidance I		
基準年次(開講期)	3年次(通年)	履修形態	選択(保育士資格必修科目)
曜日/時限/講義室	水曜/2時限/保育実習室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	保育実習、保育所、施設、事前・事後		
授業概要・目的	保育所実習10日間、施設実習10日間の事前指導においては、保育実習の心構え、実習日誌の書き方、指導案の書き方を学ぶ。また、個人のプライバシーの保護と守秘義務等について学ぶことを目的とする。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にできるようになる。</li> <li>・実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	《事前》		
第2回	・保育実習の概要……………1回		
第3回	・保育実習の意義・目的……………1回		
第4回	・保育所保育の基本と特性……………1回		
第5回	・保育所の生活と保育士の役割………2回		
第6回	・児童福祉施設の特徴と役割……………2回		
第7回	(乳児院 児童養護施設、児童自立支援施設 障害児入所施設 児童心理治療施設 福祉型児童発達支援センター 医療型児童発達支援センター等)		
第8回	・社会人としてのマナー……………1回		
第9回	・現場職員の話……………1回		
第10回	・実習生の仕事と心構え……………1回		
第11回	・観察実習……………2回		
第12回			
第13回	《事後》		
第14回	・実習の反省と報告……………2回		
第15回	・「保育実習 I 報告書」の作成と今後の課題……………2回		
教科書・参考書等	《テキスト》国広勝代編集『保育(保育所・施設)実習の手引き』至誠館大学、大豆生田啓友・高杉展・若月芳浩『幼稚園実習 保育所・施設実習』ミネルヴァ書房 《参考書》米山岳広著『保育実習の基礎と実際』文化書房博文社、民秋言ほか『保育所実習』北大路書房、民秋言ほか『施設実習』北大路書房		
授業で使用する 機器等	プロジェクター、映像機器		
予習・復習への アドバイス	保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。		
履修上の注意・ 受講条件等	保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	事前指導において、いかに真剣に取り組んだか、並びに実習を終えて作成する報告書の内容を評価の対象とする。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) その他(20/100) 3) 報告書(50/100)		
メッセージ	緊張感をもって授業に取り組む、実習に生かすこと。		
オフィス・アワー	木曜4限		
その他			